

## 令和3年度「法文学部修学の手引」の変更箇所について

-令和3年度心理学コース入学生対象-

人文学科心理学コースでは、令和4年度入学生からカリキュラム改革を行うにあたり、令和3年度入学生の単位修得基準に一部変更を加えることにしました。

次頁以降をよく読んで、令和4年度以降の履修計画を立ててください。

「新旧授業科目対照表」も必ず参照すること。

1. 「卒業要件」の変更：「令和3年度入学 修学の手引」36頁

朱書き部分が変更箇所。

コース制度の概要及び卒業要件	授業期間等
人文科学コース制度の概要 人文科学の学生は入学時より多元地域文化コースまたは心理学コースに所属する。	1 学年の 学期区分 2 学期 1 学期の 授業時間 15週 1 学期の 授業時間 90分
卒業要件： 1) 共通教育科目：30単位 2) 専門教育科目（基礎）： 2-1) 法文スタンダード科目「人文社会総合論」（2単位） 2-2) 学科共通科目「人文科学基礎Ⅰ・Ⅱ」（4単位） 2-3) その他の学科共通科目：10単位（心理学コース必修科目10単位を含む） 3) 専門教育科目（活用Ⅰ・Ⅱ）：心理学コース選択科目より36単位（活用2から心理学コース必修科目4単位を含む12単位以上） 4) 法文アドバンスト科目Ⅰ・Ⅱより計6単位 5) 専門教育科目（実践）：心理学コース選択必修科目より2単位および「卒業論文」8単位 6) 自由科目26単位（他コース・他学科・他学部の授業科目から6単位以上） *上記の要件を満たしつつ、124単位以上修得すること。 *履修科目の登録上限は年間48単位である。	取得できる免許種 中学校教諭一種免許状： 国語、社会、英語 高等学校教諭一種免許状： 国語、地理歴史、公民、英語
履修上の注意 (1) 「心理学実験実習」「心理アセスメント実習」「コミュニティ心理支援実習」「産業心理支援実習」は、基本単位（授業1コマ分の単位）1単位であるが、2コマ連続の授業として開講するので、修得単位は合計2単位となる。 (2) 括弧内の名称がある科目は、公認心理師法施行規則での「大学における公認心理師となるために必要な科目」の名称と本学での科目名称が一致しないものについて、対応する科目を明確にするために付け加えられている。	

新「卒業要件」	旧「卒業要件」 （「修学の手引」36頁記載内容）
1) 共通教育科目：30 単位	1) 共通教育科目：30 単位
2) 専門教育科目（基礎）：	2) 専門教育科目（基礎）：
2-1) 法文スタンダード科目「人文社会総合論」 （2 単位）	2-1) 法文スタンダード科目「人文社会総合論」 （2 単位）
2-2 ) 学科共通科目「人文科学基礎Ⅰ・Ⅱ」（4 単位）	2-2 ) 学科共通科目「人文科学基礎Ⅰ・Ⅱ」（4 単位）
2-3) その他の学科共通科目：10 単位（心理学 コース必修科目 10 単位を含む）	2-3) その他の学科共通科目：10 単位（心理学 コース必修科目 10 単位を含む）
3) 専門教育科目（活用Ⅰ・Ⅱ）：心理学コース 選択科目より 36 単位（活用Ⅱから心理学コース 必修科目 <b>2 単位を含み 10 単位以上</b> ）	3) 専門教育科目（活用Ⅰ・Ⅱ）：心理学コース 選択科目より 36 単位（活用Ⅱから心理学コース 必修科目 <b>4 単位を含み 12 単位以上</b> ）
4) 法文アドバンスト科目Ⅰ・Ⅱより計 6 単位	4) 法文アドバンスト科目Ⅰ・Ⅱより計 6 単位
5) 専門教育科目（実践）： <b>「卒業論文」8 単位を 含み 10 単位</b> ※10 単位を超えて修得した単位は自由科目	5) 専門教育科目（実践）： <b>心理学コース選択必 修科目より 2 単位及び「卒業論文」8 単位</b>
6) 自由科目 26 単位（他コース・他学科・他学 部の授業科目から 6 単位以上）	6) 自由科目 26 単位（他コース・他学科・他学 部の授業科目から 6 単位以上）
*上記の要件を満たしつつ、124 単位以上修得 すること。	*上記の要件を満たしつつ、124 単位以上修得 すること。
*履修科目の登録上限は年間 48 単位である。	*履修科目の登録上限は年間 48 単位である。

### 【変更箇所の説明】

- (1) 活用2「心理アセスメント実習」はコース必修科目ではなく選択科目となる。
- (2) 「多変量データ解析演習」「心理演習(旧科目名;心理療法演習)」は実践科目となる。  
実践科目の履修方法は、「卒業論文」を履修し、かつ、「多変量データ解析演習」,「心理演習」,「心理実習」,「産業心理支援実習」の4科目の中から少なくとも1科目(2単位)履修することである。
- (3) 「心理演習」「心理実習」「公認心理師の職責」は下記の基準による履修制限を設ける。
  - 1) 「心理演習」
    - ①履修時点で公認心理師資格取得及び対人援助職志望者に限る。上限30名。
    - ②履修希望者数超過時は次による選抜を行う。  
活用1のコース教員担当科目(下記)のGPA得点  
「神経科学」,「教育・学校心理学」,「感情・人格心理学」,「認知心理学」,  
「学習・言語心理学」,「臨床心理学」,「福祉心理学」,「社会心理学」,  
「産業・組織心理学」,「心理的アセスメント」,「人体の構造と機能及び疾病」,  
「健康・医療心理学」
  - 2) 「心理実習」
    - ①公認心理師資格取得志望者に限る。上限25名。
    - ②履修希望者数超過時は次のア)とイ)による選抜を行う。  
ア) 下記の科目を単位修得済であること  
基礎科目;「心理学概論」「心理学統計法」「心理学研究法」  
活用1;「神経科学」,「教育・学校心理学」,「感情・人格心理学」,「認知心理学」,  
「学習・言語心理学」,「臨床心理学」,「福祉心理学」,「社会心理学」,  
「産業・組織心理学」,  
活用2;「心理学実験」  
イ) 「心理的アセスメント」(安部・米田・飯田・平田),「健康・医療心理学」  
(米田),「人体の構造と機能及び疾病」(米田),「心理演習」(飯田・平田)の  
合計得点
  - 3) 「公認心理師の職責」  
公認心理師資格取得希望者に限る。「心理実習」を履修した者のみ。
- (4) 下記の科目の履修年次に留意すること  
「心理実習」:4年次前期  
「心理演習」:3年次前期  
「公認心理師の職責」:4年次後期
- (5) 「公認心理師の職責」はR6年度以降に履修すること

**【望ましい2年次の履修計画案】**

- ①コース必修科目「心理学コース基礎Ⅰ」「心理学コース基礎Ⅱ」「心理学実験」を履修する。
- ②2年次に履修できる、心理学コース活用1、法文アドバンスト科目Ⅰ・Ⅱ、自由科目をできるだけ履修する。

[参考]配当年次変更科目（科目名は新授業科目名）

区分	科目名	新	旧
基礎	心理学研究法	1後	2前
	心理学統計法	2前	1後
活用1	教育・学校心理学	2後	3前
	心理的アセスメント	2前	2後
	感情・人格心理学	2前	3前
	認知心理学（知覚・認知心理学）	2前	2後
	学習・言語心理学	2後	3後
	社会心理学（社会・集団・家族心理学）	2前	2後
	司法・犯罪心理学	3前	3後
活用2	心理学実験	2後	2前
	心理実習	4前	3前
	産業心理支援実習	3後	3前

(注)「心理学研究法」は「2年後期」に履修すること。

(次頁に続きます)

II. 「付表第3 卒業資格取得のための単位修得基準表」の変更：  
「令和3年度入学 修学の手引」41頁

(5) 心理学コース 朱書き部分が変更箇所

				心理学コース		
共通教育科目	必修科目	初年次教育科目	初年次セミナーⅠ		2	
			初年次セミナーⅡ		2	
			大学と地域		2	
			体育・健康	理論	1	
				実習	1	
		情報活用		2		
		グローバル教育科目	英語		4	
	異文化理解		2			
	選択科目	教養教育科目 (教養基礎科目)	人文社会科学分野	初修外国語	4	
				選択科目	2	
		教養教育科目 (教養活用科目)	自然科学分野	選択科目	4	
			統合Ⅰ (課題発見)		4	
		統合Ⅱ (課題解決)				
	共通教育科目小計				30	
専門教育科目	基礎	法文スタンダード科目		人文社会総合論	2	
		学科共通科目	学科必修科目		人文科学基礎Ⅰ, Ⅱ	4
			コース必修科目	心理学コース基礎Ⅰ, Ⅱ		4
				その他のコース必修科目		6
	活用	活用1		<span style="color: red;">(コース必修科目2単位 を含み10単位以上)</span>	36	
		活用2				
	実践	<span style="color: red;">「卒業論文」8単位を含み10単位</span>			<span style="color: red;">10</span>	
	法文アドバンスト科目	法文アドバンスト科目Ⅰ			6	
		法文アドバンスト科目Ⅱ				
	自由科目				26	
専門教育科目小計				94		
合計				124		

## 自由科目

他コース・他学科・他学部等開設科目

(変更なし)

既定の単位を超えて修得した科目

- (1) 「法文アドバンスト科目」から修得した単位のうち、6単位を超えて修得した単位および「海外異文化体験実習」「アクティブ・ゼミ」の重複履修分単位<sup>注)</sup>
- (2) 人文学科の学科共通科目（基礎）から修得した単位のうち、14単位を超えて修得した単位
- (3) 心理学コース科目（活用1・活用2）から修得した単位のうち、36単位を超えて修得した単位
- (4) 心理学コース科目（実践）で10単位を超えて修得した単位

注) 「法文アドバンスト科目」のうち「海外異文化体験実習」「アクティブ・ゼミ」に限り重複可能

ただし、以下の科目は、自由科目とはみなされない。

(変更なし)

◎履修登録及び修得単位数の確認は学生本人の責任で行ってください。

以上